

登録コード	HM109100	開講年度	2026			
授業題目	分子生体防御学特論				担当教員	山条 秀樹 他
英文授業名	Molecular Immunology				副担当	
単位数	4	講義期間	不定期	曜日・時限	集中・不定期	対象学生
講義室			授業形態	講義	備考	
信大コンピテンシー	非該当					
(1)授業の達成目標/Course objectives	ディプロマポリシー・授業で得られる「学位授与の方針」要素				(授業の達成目標)	
	2026HM医学分野加, 2025HM医学分野加, 2024HM医学分野加, 2023HM医学分野加					
	【専攻】医学または保健学の研究に対する世界標準の専門分野における深い知識・卓越した技能				生体防御機構に関する分子レベルでの作動原理を説明できる。	
(2)詳細 /Detailed information	免疫機構による生体防御の作動分子機構とその制御について、最新の研究に関する理解を深める。					
(3)授業の概要 /Overview of course	免疫機構による生体防御の作動分子機構とその制御について、最新の研究、文献情報をもとに先端研究を紹介し、少人数での討論を通じて理解を深める。主に対象とするサブトピックは授業計画の通り。					
(4)授業計画 /Course plan	第1回文献調査の方針の設定 第2回病原体受容体に関する文献調査 第3回病原体受容体に関する文献紹介その 1 第4回病原体受容体に関する文献紹介その 2 第5回病原体受容体に関する文献紹介その 3 第6回病原体受容体に関する文献について討論 第7回抗体産生制御に関する文献調査 第8回抗体産生制御に関する文献紹介その 1 第9回抗体産生制御に関する文献紹介その 2 第10回抗体産生制御に関する文献紹介その 3 第11回抗体産生制御に関する文献について討論 第12回T細胞活性化に関する文献調査 第13回T細胞活性化に関する文献紹介その 1 第14回T細胞活性化に関する文献紹介その 2 第15回T細胞活性化に関する文献紹介その 3 第16回T細胞活性化に関する文献紹介その 4 第17回T細胞活性化に関する文献について討論 第18回NKおよびILCに関する文献調査 第19回NKおよびILCに関する文献紹介その 1 第20回NKおよびILCに関する文献紹介その 2 第21回NKおよびILCに関する文献紹介その 3 第22回NKおよびILCに関する文献について討論 第23回マクロファージ、DCに関する文献調査) 第24回マクロファージ、DCに関する文献紹介その 1 第25回マクロファージ、DCに関する文献紹介その 2 第26回マクロファージ、DCに関する文献について討論 第27回がん免疫に関する文献調査 第28回がん免疫に関する文献紹介その 1 第29回がん免疫に関する文献紹介その 2 第30回がん免疫に関する文献について討論					
(5)成績評価の方法・基準 /Grading/evaluation method/evaluation criteria	文献調査の方法の理解20点、文献紹介の的確さ30点、内容の理解度30点、討論における積極性 + 質問に対する応答の妥当性20点、合計点が60点を超えていれば合格。その上で、自分の見解を提示できており、かつ、教員を感心させるレベルにあれば「卓越している（秀）」。以上の4項目を満たしていれば「かなり上にある（優）」。3項目までできていれば「やや上にある（良）」。2項目までできていれば「水準にある(可)」。					
(6)履修上の注意 ・事前事後学習の内容・テキスト・教材・参考書/Notes/Prep and review work/Textbook(s)/Reference work(s)	初回に討論した方法で自ら各回のテーマに適合する文献を熟読し、授業に備えること。また、各回の文献紹介の終了後には論点を整理し各セクションの討論に向けて準備をすること。					
(7)質問、相談への対応/Questions and requests for advice	担当教員が随時質問を受ける。メール、直接訪問いずれも可。					
(8)授業の形式 /Course format	受講者によるトピックスの紹介と教員との討議、教員による質疑への口頭での回答。					